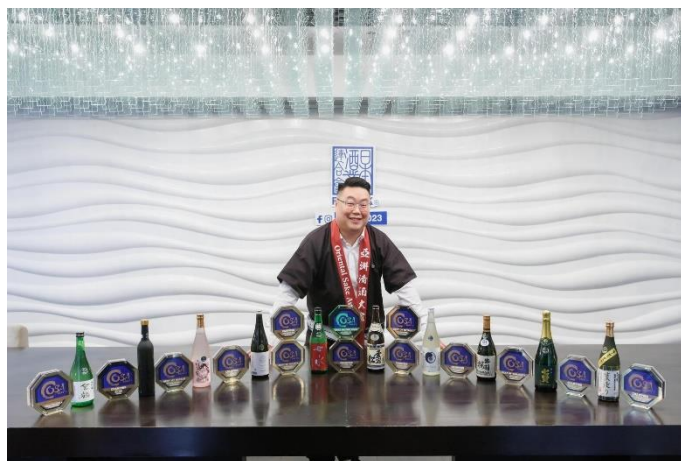


No. 7 : アジア最大級の品評会 OSA ～日本酒市場拡大に寄与～（令和 5 年 10 月 24 日）

世界でも有数の日本酒市場である香港で開催される日本酒コンクール「Oriental Sake Awards（オリエントタル・サケ・アワード、OSA）」で、虎屋本店（宇都宮市）の「七水 純米吟醸 55 雄町」が 2023 年の Sake of the Year に選ばれたというニュースが飛び込んできた。香港在住の本県出身者としてうれしく思っていたところ、OSA の主催者である香港日本酒業連合会の関係者に話を聞くことができた。



【「Oriental Sake Awards 2023」の受賞酒と実行委員会代表の Micky Chan 氏（Oriental Sake Awards 実行委員会提供）】

OSA の歴史はまだ浅く、今年が 2 回目の開催である。しかしながら、第 1 回（2022 年）には 159 蔵 437 銘柄、第 2 回には 147 蔵 356 銘柄がエントリーしており、早くもアジア最大級の国際日本酒コンクールとなっている。

主催者としては、将来は英国の「International Wine Challenge（インターナショナル・ワイン・チャレンジ、IWC）」Sake 部門やフランスの「Kura Master（クラマスター）」といった世界を代表する日本酒コンクールに肩を並べたいと考えているようだ。

OSA の最大の特徴は、公正な審査を行っていることにある。IWC の審査経験を持つ人が審査を仕切っており、温度管理やブラインドテイスティングの徹底はもちろん、審査結果におかしな点があれば何度もテイスティングを繰り返すなど、厳格な審査体制が構築されている。また、受賞酒が特定の味に偏らないよう 9 つの部門が設けられ、金賞受賞酒が出品数全体の約 7%にとどまることなどからも公正さが伺える。

ここまで公正な審査を徹底している点に、主催者が OSA にかける思いが込められている。香港の日本酒業界の中には、日本酒人気の高まりから、あまり知識を持たない輸入事業者が増えることで市場が荒れてしまうのではないかという危機感があつたそうだ。

そこで、業界の適切な発展を目指して、酒類の教育者や酒類の販売を行う人をはじめとした経験豊かな専門家が集まって香港日本酒業連合を設立し、その事業の一つとして OSA を開催しているというわけである。

OSA の存在は、香港の日本酒市場の拡大と洗練に大きく寄与することだろう。こうした中、本県の日本酒がより一層香港の消費者に浸透していくよう、イベント出展等を通じて PR していきたい。

（県香港事務所長 卯木啓之）